

東青ヶ島海丘カルデラ熱水サイトシンポジウム

海洋研究開発機構（JAMSTEC）海洋機能利用部門海底資源センターでは、東青ヶ島海丘カルデラ熱水サイトを重点研究地域に位置付け、今後様々な観点から成因研究を進めていく予定です。2022年度には、ROVによる潜航調査航海とROV・AUVによる物理調査航海が計画されています。これらの航海に先立ち、これまでの研究成果の共有とより良い航海計画の立案、さらなる共同研究の深化を目指して、2月24日（木）午後にオンラインシンポジウムを開催することになりました。

本シンポジウムに参加を希望される方は、以下の Google Form からお申込み下さい。後日、Zoomの接続先 URL をお送り致します。堅苦しくなく、議論の盛り上がるシンポジウムにするように努めますので、皆様の奮ってのご参加をお待ちしています！

参加申し込みの Google Form はこちら↓↓↓

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeQuDmMOI2t-ne4rz4LUIEgInKqt1HYWm5tflmeki7XPEqVJQ/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0>

以下は、タイトルと発表者を示したプログラム案です。

開催日時：2022年2月24日（木）13:00～

開催方法：オンライン、Zoomを使用

13:00-13:05：挨拶と本シンポジウムの趣旨紹介（JAMSTEC：野崎達生）

[YK21-10 航海関係]

13:05-13:25：伊豆小笠原弧の熱水は探しくされたか？～YK21-10 の目論見と蹉跌
（JAMSTEC：熊谷英憲）

13:25-13:40：東青ヶ島カルデラでの電磁気観測（JAMSTEC：笠谷貴史）

13:40-13:55：東青ヶ島海域における地球物理航走観測と ROV 曳航型磁気探査の試み
（JAMSTEC：北田数也）

13:55-14:10：現場 ATP 定量の現状と展開（JAMSTEC：福場辰洋）

[KS-21-20 航海関係]

14:10-14:30：KS-21-20 航海まとめおよび岩石試料の全岩化学組成、大型生物試料の紹介
（JAMSTEC：野崎達生）

14:30-14:40：休憩

14:40-14:55：反射顕微鏡・SEM-EDX による鉱物記載（九州大学：小濱和樹）

14:55-15:10：東青ヶ島沖海底熱水鉱床の記載と観察（JAMSTEC：鳥本淳司）

15:10-15:25：Central Cone Site 試料中の含金鉱物（東北大学：栗林貴弘）

15:25-15:40：東青ヶ島海丘カルデラ熱水サイトの熱水組成（神戸大学：石橋純一郎）

15:40-15:55：Higashi-Aogashima Knoll Caldera Hydrothermal

Field: Geochemistry and Geochronology（神戸大学：Man-Yin Tsang）

15:55-16:10：金濃集岩石試料における特殊な微生物群集構造（JAMSTEC：若井暁）

16:10-16:40：フリーディスカッション・今後の航海予定（全参加者）

本シンポジウムに関する問い合わせ先

JAMSTEC 海洋機能利用部門海底資源センター 野崎達生

nozaki@jamstec.go.jp